

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公表番号】特表2012-504990(P2012-504990A)

【公表日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-009

【出願番号】特願2011-530459(P2011-530459)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 E

A 6 1 B 17/34

A 6 1 B 1/00 A

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月21日(2012.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内視鏡器具（82）のための保持・案内装置であって、
1つの平面に延び、1つの面を区切る第1の案内装置（20）と、
 前記第1の案内装置（20）に沿って移動可能な第1のキャリッジ（26）と、
 前記第1のキャリッジ（26）と結合され、これに対して垂直な平面に延びる第2の案内装置（40）と、
 前記第2の案内装置（40）に沿って移動可能な第2のキャリッジ（44）と、
 前記第2のキャリッジ（44）と結合され、長軸を中心として回転可能かつ軸方向に可動の、
 内視鏡器具（82）の受容部（80）と、
 前記第1および第2のキャリッジ（26，44）のための、ならびに内視鏡器具（82）の前記受容部（80）のための駆動ユニット（28，50，64，70）と、
 前記駆動ユニットに付属する制御部とを含み、
前記第1の案内装置（20）を腹壁に固定するために、かつ、高さの差を個別に補償するために、1以上の接着アダプタ部品が、高さおよび/または側方補償のためのアダプタとして設けられていることを特徴とする、保持・案内装置。

【請求項 2】

前記第1の案内装置（20）は円形であることを特徴とする、請求項1に記載の保持・案内装置。

【請求項 3】

前記第1の案内装置（20）は閉じた面を区切っていることを特徴とする、請求項1または2に記載の保持・案内装置。

【請求項 4】

前記第1の案内装置は部分リング（＜360°）として構成されていることを特徴とする、請求項2に記載の保持・案内装置。

【請求項 5】

前記第 2 の案内装置 (4 0) は円形であることを特徴とする、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の保持・案内装置。

【請求項 6】

前記第 2 の案内装置 (4 0) は 約 90° にわたっている ことを特徴とする、請求項 5 に記載の保持・案内装置。

【請求項 7】

前記アダプタは 高さに関してフレキシブルに構成されている ことを特徴とする、請求項 6 に記載の保持・案内装置。

【請求項 8】

前記アダプタは ゲル充填部を含んでいる ことを特徴とする、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の保持・案内装置。

【請求項 9】

前記ゲル充填部が 固化可能であることを特徴とする、請求項 8 に記載の保持・案内装置
。

【請求項 10】

前記アダプタへの前記第 1 の案内装置の磁気的な 固定に対応している ことを特徴とする、請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項に記載の保持・案内装置。

【請求項 11】

前記第 1 および / または第 2 の案内装置は中空体として構成されていることを特徴とする、請求項 1 から 10 までのいずれか 1 項に記載の保持・案内装置。

【請求項 12】

前記第 1 および / または第 2 のキャリッジ (2 6 , 4 4) の駆動のために機械式または磁気式の歯 (2 2 , 3 0 ; 4 2 , 5 4) が設けられていることを特徴とする、請求項 1 から 11 までのいずれか 1 項に記載の保持・案内装置。

【請求項 13】

前記第 1 および / または第 2 のキャリッジ (2 6 , 4 4) の駆動のためにリニアモータ ドライブが設けられている ことを特徴とする、請求項 1 から 12 までのいずれか 1 項に記載の保持・案内装置。

【請求項 14】

前記第 2 のキャリッジ (2 6 , 4 4) の駆動のために 摩擦車駆動装置が設けられている ことを特徴とする、請求項 1 から 13 までのいずれか 1 項に記載の保持・案内装置。